

第5章

食育の推進に向けて

1 食育推進活動の展開

国では、食育推進基本計画において、毎年6月を「食育月間」として定め、広報啓発活動等を重点的に実施し、食育に対する理解を深め、食育推進活動への積極的な参加を促すなど、一層の充実と定着を図っています。

国の「食育推進基本計画」より

毎年6月は
食育月間

毎月19日は
食育の日

大阪府では、夏休みで子どもの生活習慣が不規則になりやすい、毎年8月を「食育月間」として様々な取組みを行っています。

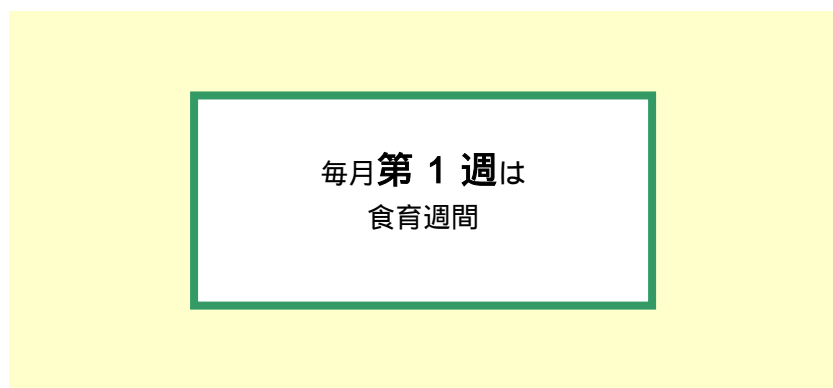
大阪府の「食育推進計画」より

毎年8月は
食育月間

<高槻市の取組み>


高槻市では、毎月第1週を「食育週間」として、普及啓発を行っていきます。
また、食育を理解し、食育に関心を持っていただく「食育フェア」を開催します。

食育の大切さを市民一人ひとりが理解し、楽しく広げていくために、まずは、家庭から取組み、食楽の輪を広げていきましょう。



【食育週間 みんなで一緒に おいしく たのしく 食育ようび!!!】


月曜日



朝ごはん しっかり
食べ ようび

一日の始まりは、愛情のこもった朝ごはんから。
朝ごはんを食べて体がめざます。

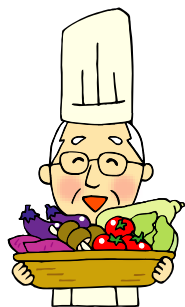
火曜日



何でも 好き嫌いなく
食べ ようび

料理作りは、家族の笑顔。
作り手の、心の通う料理に感謝して
何でも食べましょう。

水曜日



高槻農産物 取り入れ ようび

新鮮で美味しいのが、地場産野菜。
高槻農産物を積極的に取り入れましょ
う。

木曜日



野菜バリバリ 食べ ようび

季節の旬野菜を使って健康料理。
シンプルで素材を生かす料理法を工
夫しましょう。

金曜日



元気に 運動し ようび

栄養バランスのとれた食生活と適度
な運動は、元気のもと。
無理のない運動を楽しみましょう。

土曜日



家庭菜園 土に ふれ ようび

食材を知れば知るほど好きになる。
自然に触れて野菜などの成長を観察
してみましょう。

日曜日



ゆっくり おしゃべり 家族で 食べ ようび

食事は、コミュニケーションを深め
る大事な栄養素。
五感を使って食を楽しみましょう。

「食育フェア」開催

平成18年度から行っている「食育フェア」を引き続き開催します。

さまざまな体験型のブースを設置し、子どもも大人も、楽しみながら「食」を学べる内容で、広く市民に「食育」の重要性を啓発していきます。

参加組織

(行政)	市長公室	政策企画室	
	保健福祉部	保健所	保健総務課・保健衛生課
	〃	保険医療室	健康づくり推進課
	子ども部	子ども育成室	保育課・子ども保健課
	都市産業部	農林商工観光室	農林課・企業振興課
	(教)教育管理部	管理室	保健給食課
	(教)教育指導部	学校教育室	教育指導課
	水道部	企画室	
(関係団体)	高槻市農業協同組合		
	高槻市栄養士会		
	高槻市食生活改善推進協議会		

内容

子どもクッキング、学校給食試食会、高槻農産物の販売、取組み展示、食育紙芝居 など



エプロンシアター



野菜つり



食事診断



食事バランスプロレス

平成19年度の食育フェアの様子
(農林水産省と共催)

2 進行管理と評価

食育を推進するに当たっては、市民、教育・保育関係者、農林業者、食品関連事業者、行政等の多様な関係者が連携しながら、協働して取り組んでいく必要があります。

また、本計画を総合的、計画的に展開していくために、目標数値の向上を目指した取組みの検証（担当課や団体へのヒアリング、アンケート実施など）を行い、更なる展開に反映させていくことが求められます。

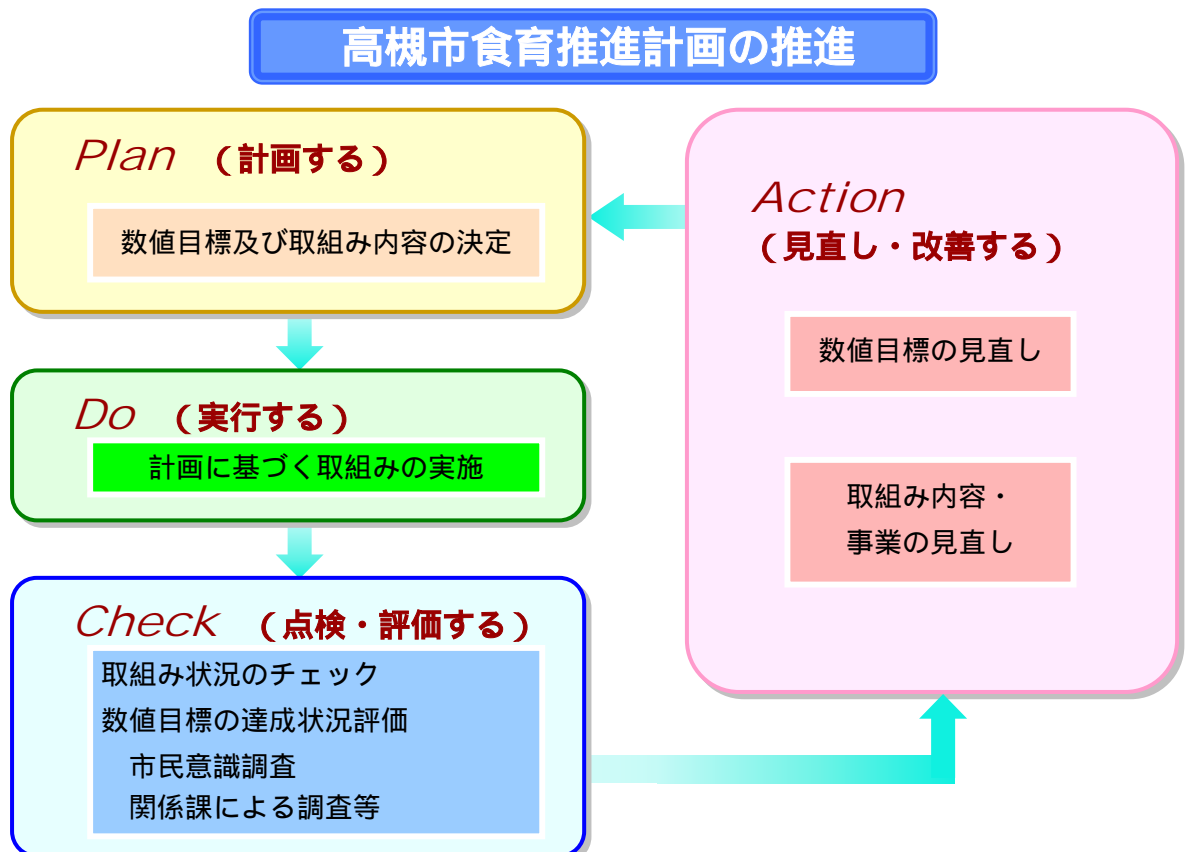
このため、新たな提案を含め、計画を推進していくために下記の組織を構築・強化させていきます。

- ・行政内部に、「(仮称)高槻市食育庁内推進会議」を発足させ、適宜、会議等を開催し、進行管理と事業の推進、評価を行います。
- ・市民、食育の関係者及び関係団体で構築された「食楽ネットワーク」を中心に、市全体で「食育」の推進に向けた取組みを行います。

[目標達成評価フロー]

P D C Aサイクルの活用

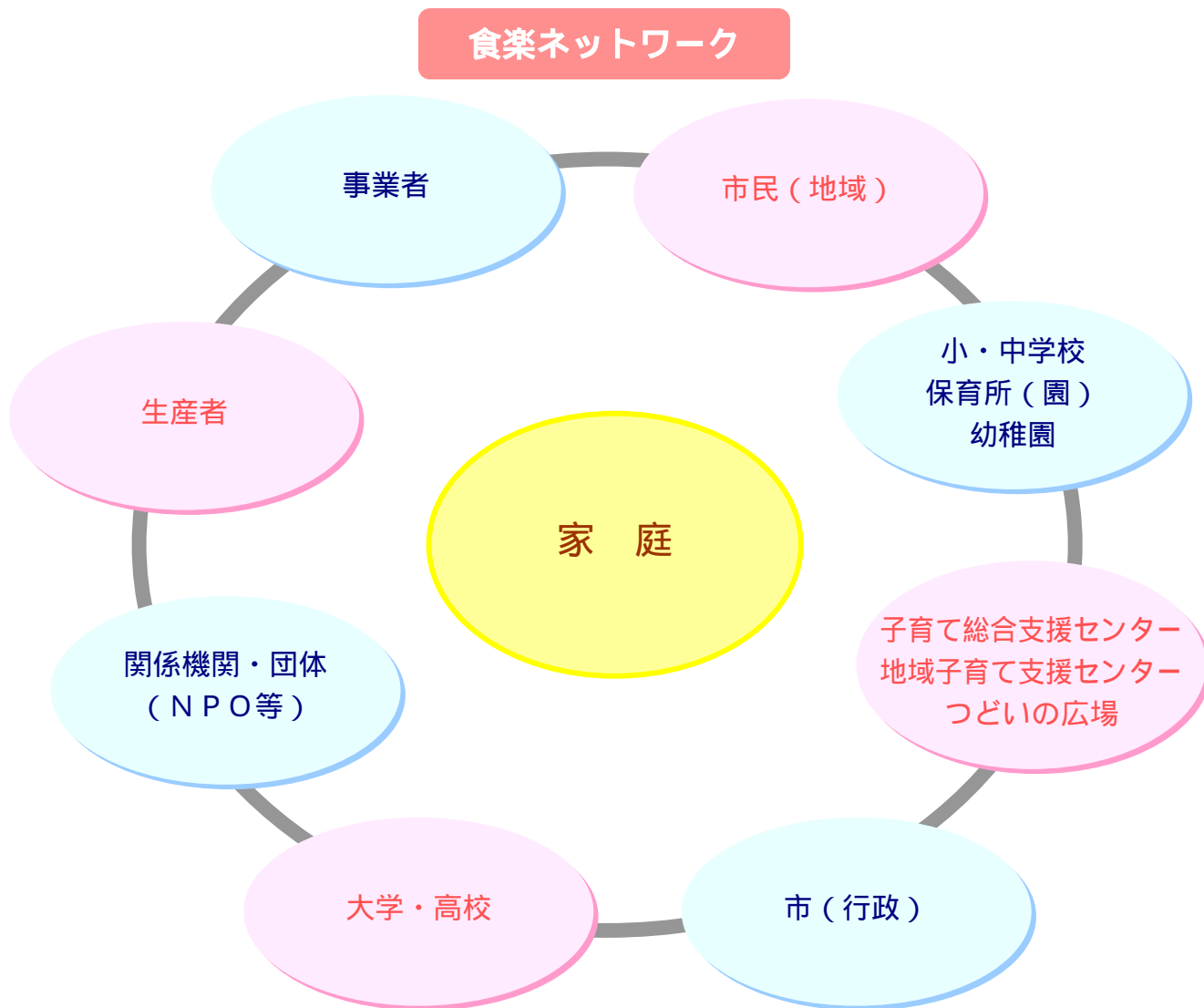
計画に掲げた目標の達成に向けて、進捗状況をチェックし定期的に見直していく仕組みをフロー図として示しています。



3 推進体制

食育の推進にあたっては、「食楽ネットワーク」を中心に連携・協力して進めていきます。

それぞれが行っている食育の取組みを点から線へ、線から面へと繋げていくことが大切です。



わたしたち、食育で
健康一家をめざします

おいしく、楽しく
頑張りましょう

